

ZENBUTSU



全仏

No.
487

仏暦2546年4月
[2003年]



CONTENTS

- ご挨拶——— 平成15年度を迎えるにあたって
諸問題への対応に向け、進歩の結集を
- 報告——— 理事会・評議員会開催／常務理事会開催
2003年 新年懇親会
「日本仏教者の非戦・平和への願い」表明
クアラルンプール日本人墓地追悼法会 厳修
第14回加盟団体責任者同和研修会
事務総局録事

ご挨拶

平成十五年度を 迎えるにあたって

諸問題への対応に向け、進歩の結集を



財団法人 全日本仏教会
理事長 森 和久

本会加盟の五十八の宗派、三十五の都道府県仏教会、九の仏教系団体の御推挙を賜り、昨年一月より本会の第二十五期理事長として格別な御協力をいただき、大過なく前半の一年をつとめさせていただけましたこと、心より厚く御礼を申し上げます。

去る二月十二日の理事会・評議員会で、平成十五年度事業計画・収支予算等の諸事項を御承認いただき、今期後半の事業推進の決意をあらたにしているところでございます。より一層の御協力を御願いたしたく、ご挨拶を申し上げます。

世界的な大変動の中、国内においては宗教団体や宗教者に対する諸問題が種々提起され、宗教離れや寺離れの進む一方、国家や社会より宗教法人の存在意義や公益性が厳しく問われる様相を呈しています。

国家政策変更の一端である国立戦没者追悼・平和祈念新施設の在り方、教育基本法の在り方、公益法人さらには宗教法人制度の改革、課税強化への可能性等、仏教界にとり重要な関連諸問題が、次々とおし寄せてきているのであります。又海外においては、民族・宗教・政治等の違いから起こる悲惨な争いが、世界の各地で絶え間なく繰り返されております。

これら多くの諸問題に対し、事務総局にて情報資料等を収集整理し、各専門・特別委員会や理事・評議員会において慎重審議を願った結果を、平和声明・政策要請等として各関係機関へ発表提出すると共に、具体的な要望行動に移すなど鋭意努力しております。

また、各加盟団体のさらなる意志疎通をはかるために、広報を拡充し、綿密な諸会議の開催や事業の協力的体制充実をめざし、役員・財政等を手始めに、

本会の機構・事業に対する見直し作業をすすめているところでございます。

こうした状況下において、各加盟団体が宗派や団体の規模・特色等の違いをのりこえ、より一丸となり、和合一如していくことが肝要と思います。その和合の結集によってこそ、多くの諸問題に対応し、全国寺院の布教活動の環境を整え、仏教界が社会に対し利他の役割を今以上十二分に果たしていくことができると思っております。それができると信ずるものであります。それこそが、本会の目的である全一仏教運動の推進であると思っております。この大切な一年微力ながら精進努力してまいる所存でございますので、何卒倍旧の御指導、御鞭撻の程切に御願ひ申し上げます。

合 掌

新年懇親会 開かれる

二月十二日、午後六時から東京グランドホテルで恒例の新年懇親会が開催された。各加盟団体、本会関係の諸団体、現職国会議員十数名を含め約二百名が参加し盛会であった。

大谷光真会長の挨拶の後、新田邦夫日本宗教連盟理事長が祝辞を述べ、成田有恒新副会長より就任のご挨拶があった。続いて粕川鐵禪副会長の発声で乾杯を行ない会食に移った。

参加者は、終始和やかに交流を深め、森和久理事長の挨拶をもってお開きとなった。



挨拶する大谷光真会長

「日本仏教者の非戦・平和への願い」表明

全日本仏教会は、現在の緊張をはらんだ国際情勢を鑑み、仏教者の立場から非戦・平和を願う意見書を二月十四日に表明した。そして、広く関係諸国や我が国の諸機関に送付した。

また、二月二十日比叡山で行なわれた世界宗教者平和会議主催によるイラク危機の『平和解決を願う緊急集会』にも参加し、声明文を採択し世界平和を祈った。



比叡山で行われた「平和解決を願う緊急集会」

日本仏教者の非戦・平和への願い

人類は今まで長い歴史の中で数多くの戦いを繰り返して、戦火の中で多くの人々が悲惨な死をとげ、更には、後に残された人々が悲しみの奈落に突き落とされるという悪循環を絶え間なく繰り返してきました。

今日、二十一世紀を迎え、全世界の人々が民族・政治・宗教等の違いを乗り越え、互いに理解しあい、対話と協調による平和共存を目指して行かなければならない時を迎えております。しかし今まさに世界は、危険な武器の保有が危惧され、また武力が行使されて多くの貴重な人命が失われるかもしれないという危機に直面しています。

釈尊は、勝ち負けの世界に縛られているのは、相手と自分に対するとらわれの心を超えられないからで、結局、果てしない対立や苦悩につながるだけであるから、これを捨てねばならないと強調されました。従って、人を殺すことや武力の否定は言うまでもありません。怨みをいだかず、戦わずという立場は、釈尊にとって当然の選択だったのです。

仏教の究極の目標はこの世のすべての事象を「縁起・空」と覚ることです。すべてのいのちを大切に、相手と自分に対するとらわれを超え、違ったもの同士が手を取り合って生きるように努める。これが仏教によって平和を実現する際の基本理念です。まさに共存・共生の思想です。

私たち仏教徒は、今こそ過去の悲しいおろかな歴史を繰り返すことのないよう、釈尊の智慧と和合の精神に立ち返るため全力を尽くして、全人類の連帯に向け、叡智ある外交努力を傾注することが、当面、緊要の課題であると信じます。

以上の点から全日本仏教会は、釈尊の教えを奉じる者として、平和への願いを新たに、全世界に向け強く非戦・平和の希求を訴えるものであります。

二〇〇三年 二月十四日

財団法人 全日本仏教会

理事長 森 和久

理事会・評議員会開催

本会の理事会・評議員会が、去る二月十二日午後二時半から、東京グランドホテルで開催された。会議では平成十五年度の事業計画案や収支予算案等が審議された。

評議員会

議長に萩野映明師、議事録署名名人に池貝弘禪、上村映雄の両師を選出し、議事に入った。

●議案第一号「理事の変更について承認を求める件」
萩野議長より上程。櫻井総務部長が説明。原案通り承認された。

●議案第二号「平成十四年度補正予算(案)について意見を求める件」
萩野議長より上程。宮川財務部長が説明。賛成の意見が表明された。

●議案第三号「平成十五年度事業計画(案)について意見を求める件」
萩野議長より上程。櫻井総務部長より

り説明。賛成の意見が表明された。
●議案第四号「平成十五年度収支予算(案)について意見を求める件」
萩野議長より上程。宮川財務部長より説明。賛成の意見が表明された。

●議案第五号「副会長推戴承認の件」
萩野議長より上程。大谷博通副会長推戴委員会副委員長が、二條恭仁子副会長のご逝去に伴い副会長推戴委員会が組織された経過、十二月三日の委員会で(社)日本仏教保育協会名誉会長の成田有恒師が副会長に推挙されたことを報告。櫻井総務部長が十二月三日の常務理事会で承認されたことを報告。承認された。

●議案第六号「評議員数削減の承認の件」
萩野議長が上程。櫻井総務部長が経過を説明。意見交換の後、現寄付行為の規定内で、次期より最終的に評議員が各加盟団体から一名になるよう調整することで承認された。また今後、現状に合わせた寄付行為の改訂・機構改革の必要性が指摘された。

森和久理事長を議長に議事録署名名人に、安藤正晃、酒井文雄の両師を選出し議事に入った。
●議案第一号「常務理事の変更について承認を求める件」
森議長より上程。櫻井総務部長が説明。原案通り承認された。
●議案第二号「平成十四年度補正予算(案)について承認を求める件」
森議長より上程。宮川財務部長が説明。原案通り承認された。
●議案第三号「平成十五年度事業計画(案)について承認を求める件」
森議長より上程。櫻井総務部長より説明。原案通り承認された。
●議案第四号「平成十五年度収支予算(案)について承認を求める件」
森議長より上程。宮川財務部長より説明。原案通り承認された。

理事会

●議案第五号「副会長推戴承認の件」
森議長より上程。承認された(評議員会の項参照)

●議案第六号「評議員数削減承認の件」
森議長より上程。承認された(評議員会の項参照)

●議案第七号「理事会公開承認の件」
森議長より上程。櫻井総務部長が内規(案)に基づき説明。内規再考の余地があるが公開に関しては承認された。

●議案第八号「主事退職にともなう新主事採用の件」
森議長より上程。櫻井総務部長より説明。原案通り承認された。

●「対イラク武力行使に関する本会の対応について」
小林事務総長が説明。意見交換の後、平和を願う観点から本会として早期に

協議事項 (理事会・評議員会)

●「対イラク武力行使に関する本会の対応について」
小林事務総長が説明。意見交換の後、平和を願う観点から本会として早期に

意見表明を行うことが合意された。

報告事項 (理事会・評議員会)

武田昭英ルンビニー委員会委員長より、発掘遺物の整理・記録・返還作業の終了、ならびにネパール側が進めているマヤ堂の建設の現況が報告された。今後は報告書の早期刊行に努力する旨も報告された。

① 臨済宗天龍寺派退会及び真宗興正派退会申し出の件

小林事務総長が経過を報告。両団体に対してそれぞれ復帰と慰留に努めていく旨説明がなされた。

② 広報拡充方針について

櫻井総務部長、壽山社会部長が説明。国際的に正式に認められた仏旗の普及に努めている現況。封筒等のデザインを一新する点。またそこにあしらわれているシンボルマークの作成意図が説明された。

また本会ホームページと全仏誌を四月号より刷新、加盟団体機関誌に全仏の活動報告記事の掲載協力要請を行っている旨も報告された。

③ 中央教育審議会への宗教教育に関する要請の件

小林事務総長が経過を報告。三月末に中央教育審議会の答申が出されるといふ状況を鑑みて、本会として理事長主導の下、具体的かつ迅速な組織的対応を行うことが合意された。

④ ルンビニー報告

一、(財) 日本宗教連盟主催シンポジウム「いま、宗教教育を考える―教育基本法第九条の理念と現状―」三月二十七日・東京で開催
二、(財) 日本宗教連盟の理事・監事・参議の推薦の件
三、(財) 日本宗教連盟主催シンポジウム「いま、宗教教育を考える―教育基本法第九条の理念と現状―」三月二十七日・東京で開催
四、各団体の行事予定案内
大蔵経データベース化支援募金の中間報告シンポジウム、日本仏教讃仰会東京お盆まつり、西本願寺展、空海と高野山展
五、国立新追悼施設についての対応
本会としては「新たな戦没者の受け皿となる施設には反対」十二月十日、首相宛要請書提出
六、靖国神社に対する首相の公式参拝中止の要請。一月二十一日、首相宛要請書提出
七、公益法人改革についての対応
行政改革推進本部の議論の進捗状況を把握し今後迅速に対応する
八、ローマ教皇庁関係行事参加報告
九、スリランカ和平に対する協力現況
十、仏教NGOネットワーク。四月一日成立に向け本会も協力

常務理事会開催

本会の常務理事会が、去る二月十七日正午より、明照会館会議室で開催された。森和久理事長を議長に、議事録署名人に西郊良光、大谷博通の両師を選出し議事に入った。

協議事項

一、「中央教育審議会への対応の件」

小林正道事務総長が、先の二月十二日の理事・評議員会での合意を承け、早急な対応が必要である旨報告した。

意見交換の後、本件に関する特別委

員会を組織し、各方面に具体的折衝を行うことになった。また第一回の会議を三月十日に開催し、具体的な活動方針を検討することが決められた。

二、意見書「日本仏教者の非戦・平和への願い」の件

壽山社会部長より、二月十四日付で各方面へ標記意見書を配布したことへの報告と共に、二月二十日、比叡山で開催される、世界宗教者平和会議(WCRP)主催、「イラク危機の平和解決を願う緊急集会」で、本会としての意見表明としたい旨が説明され、承認された。

第22回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会

クアラルンプール日本人墓地 追悼法会 厳修

報告：本会代表団 阿部顕瑞 (曹洞宗)

第22回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会への本会代表団は、大谷光真会長以下、49人で組織された。今回参加された阿部顕瑞師は、第9回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会(昭和44年)にも参加された。以下ご寄稿を掲載する。(文責社会部)



第22回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会。クアラルンプール日本人墓地での記念写真。大谷光真会長(前列右より4番目)、森和久理事長(前列右より5番目)、阿部顕瑞師(前列右より6番目)



追悼法会の導師を務める大谷光真会長

開会式前日十二月九日、WFBセランゴール地域センターとの懇親昼食会の後、クアラルンプール日本人墓地に移動し追悼法会を行いました。

南国の午後は非常に暑く、日本人墓地の門柱には、一八九一年(明治三〇年)と刻まれています。この墓地には、からゆきさんや邦人男性労働者、セレンバン、バトゥパハ、アロースタ等での戦死者の共同墓地、旧陸軍兵士の墓

やいくつかの部隊の慰霊塔などがあり、クアラルンプール日本人会の人々に守られ、祀られているとお聞きしました。

また、約二十年程前から、現地の日本人学校が生徒の教育活動の一環として墓地清掃を行ない、清掃がいき届きとても健やかな気分になりました。

墓地内の慰霊塔前で、大谷光真会長導師の下、浄土真宗本願寺派の方々が中心となり追悼法要が営まれ、炎天下時間を忘れて全員で読経しました。

引き続き墓地内の吉隆寺の仏前で、森和久理事長を中心に曹洞宗の方々が読経しました。

やがて堂内の大きな写真を見ると、何と昭和四十四年四月、第九回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会の際行なわれた日本人墓地での追悼法会の記念の集合写真でありました。来馬道断理事長以下三十七人の代表がこの地で追悼法会を営み、日本人会の人々が喜び、感謝されていたことを思い出し、詳細に大谷会長や皆様に説明いたしました。

今回も日本人会の人々の喜びは極めて大きなものであったに違いありません。



第9回WFB世界仏教徒会議マレーシア大会(昭和44年)クアラルンプール日本人墓地での記念写真。来馬道断理事長(前列左より7番目)阿部顕瑞師(2列目左より6番目)

三十三年前を偲んで感激は、非常に深いものがあります。

翌日は、シャイラム・グランドブルーウエーブホテルで今大会の開会式が行なわれ、その後、ペナン島に移動し寝釈迦仏寺院など参拝しました。寝釈迦仏寺院は、堂内に十数メートルの寝釈迦仏があり、壇の下には数千の預骨が安置されお盆や命日には、多くの参拝があるとのことでした。

そして、クアラルンプールに戻り、最後の夕食を皆様といただきました。大谷会長様はじめ一人の事故もなく皆様と快く共に過ごすことができたこと厚く感謝致します。

合掌

第十四回加盟団体責任者同和研修会

『人権・同和行政
人権文化の創造をめざして』

二月七日午後一時三十分より、真言宗豊山派宗務庁で、各加盟団体責任者二十団体五十名の参加の下、本会主催第十四回加盟団体責任者同和研修会が開催された。

講師に和田献一氏（部落解放同盟栃木県連合会委員長）を迎え、人権と同和行政を中心にこれからの人権問題について講演された。

今般、世の中で人権問題が大きく取り上げられている。人権とは、「人が生まれながらにして、生命に對する固有の権利を有する」ことであるが、子供の虐待・高齢者への人権侵害・夫婦の暴力等といった問

題が突起している。

和田氏は、一つに日本社会の社会基盤の機軸が変化し、伝統・しきたり・道徳等を重んじ、お互いが助け合う農村型社会（共同体）から、個を中心とした都市型社会への移行を指摘した。

今後、共同体が果たしてきた役割に代わり、社会の機軸になるのは人権思想であり「人権教育による抑制機能としての人権」が機能していかなければならないと説いた。

例えば、一九九四年松本サリン事件では、警察・マスコミ・世間が個人を攻撃し、「推定無罪の原則」（人権概念）という理性的英知が機能しなかった。「チョット待て、人権」という個々の抑制機能としての人権と、個人の尊厳としての人権の確立が必要である。そして人権を「社会の共通資本」として考えていかなければならないと述べられた。
聴衆は、身近な問題だけに熱心に聞き入っていた。



講師の和田献一氏

事務総局録事

二月 (十一～二十八日)

十二日 理事会・評議員会

新年懇親会

十三日 全日本仏教青年会全国大会

出席 法律相談室

十四日 「日本仏教者の非戦・平和への願い」発表

出席 局内会議

十七日 常務理事会

二十日 イラク危機緊急集会出席

二十五日 部落解放・人権研究所総会

出席 法律相談室

二十七～二十八日 人権啓発研究集会出席

三月 (一～十日)

三日 自由民主党と懇談会

四日 仏教NGO企画委員会出席

四日 日宗連幹事会

局内改修打合せ会議

七日 ペルー総領事懇親会出席

東京都市春季慰霊大法要参列

出席 宗教教育推進特別委員会

十日

哀悼

小林慶存師（全仏評議員）
三月七日遷化 八十一歳

天台寺門宗宗務総長

【訂正】
前号（四八六号）最終ページの人事就任・退任欄に於て、本会評議員を退任された安好和人師（鳥取県仏教連合会）を安井昭雄師と誤って記載致しました。
正 退任 安好和人（鳥取県仏教連合会）
誤 退任 安井昭雄（鳥取県仏教連合会）
尚、安井昭雄師は鳥取県仏教会より本会評議員に御出向され、引き続き評議員としてご尽力頂戴しております。

謹んで訂正させて頂きますと共に、不手際によりご迷惑をおかけしましたこと、関係各位に心より詫び申し上げます。

無料法律相談室

長谷川正浩本会顧問弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

●お願い
本誌發送先変更の場合、事務局まで、ご一報をお願いします。

私たちの仏旗と法輪

●仏旗と法輪は次のような意味があります。

仏旗とは、仏教徒が仏教を開かれたお釈迦さま（仏陀）の教えを守り、仏の道を行んでいく時の大いなる旗印となるものです。

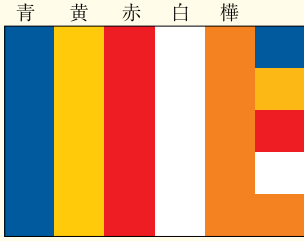
仏旗の色と形には、仏陀がそのすぐれた力をはたらかせる時、仏陀の体から青、黄、赤、白、権及び輝きの六色の光を放つと『小部経典』というお経の中の「無礙解道」の項に説かれていることから、これらの色が使われています。このため仏旗は「六色仏旗」とも呼ばれています。また、次のようにも理解されています。

・青は仏さまの髪の毛の色で、心乱さず力強く生き抜く力「定根」を表します。
 ・黄は燦然と輝く仏さまの身体で、豊かな姿で確固とした揺るぎない

性質「金剛」を表します。

・赤は仏さまの情熱とばしる血液の色で、大いなる慈悲の心で人々を救済することが止まることのない働き「精進」を表します。
 ・白は仏さまの説法される歯の色を表し、清純なお心で諸々の悪業や煩惱の苦しみを清める「清浄」を表します。

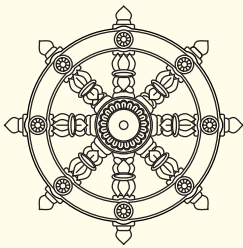
・権は仏さまの聖なる身体を包む袈裟の色で、あらゆる侮辱や迫害、誘惑などによく耐えて怒らぬ「忍辱」をあらわし、インド、タイ、ビルマ等の僧侶がこの色の袈裟を身につけています。
 この縦と横に重なり合う五色で表される仏さまのお姿と教えが、仏の道を進む私たちを励まして下さっているのです。



●仏旗

カラー指定

	チップ	プロセスカラー
青	DIC184	C100+M70+Y10
黄	DIC206	C0+M20+Y100
赤	DIC198	C0+M100+Y100
白		
権	DIC204	C0+M60+Y100



●法輪

法輪はお釈迦さまの教えが他に転じて伝わるのを輪にたとえたもので、仏教の象徴です。

「花まつり」ポスターのご案内

1部100円(最少5枚より)頒布希望の方はFAXまたは、はがきで下記を明記してお申込み下さい。

- 1) 氏名
- 2) 一般・ご寺院(ご宗派・ご寺院名)の別
- 3) 希望枚数
- 4) 郵便番号、住所
- 5) 連絡先電話番号



申込先 全日本仏教会財務部
 〒105-0011
 東京都港区芝公園4-7-4
 明照会館2階
 電話 03-3437-9275
 FAX 03-3437-3260

ホームページが変わりました!

●<http://www.jbf.ne.jp>

4月より加盟団体の皆様と一般の方に、より役立つ情報を提供できますよう、本会ホームページを刷新してまいります。



- 加盟団体主催行事の紹介
- 加盟団体サイト内情報検索
- 全仏誌バックナンバーの公開
- 目的別リンクの充実
- やさしい釈尊伝 他

御影堂平成大改修事業記念「西本願寺展」開催

●国宝 三十六人家集 史上初の全冊公開

西本願寺の所蔵品とゆかりの文化財を一室に展示。

「鏡御影」(国宝)や「慕婦絵」(重要文化財)をはじめとし、なかでも「本願寺本三十六人家集」は、極めて重要な作品です。

日時 3月25日～5月5日
 午前9時30分より午後5時まで(月曜休館)
 会場 東京国立博物館(上野公園内)
 観覧料 一般 1300円 高校・大学生 900円
 小・中学生 400円
 主催 浄土真宗本願寺派他
 問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600



●弘法大師入唐1200年記念 特別展『空海と高野山』大公開!

弘法大師入唐1200年を記念し、〈空海と高野山の歴史〉〈空海思想と密教のかたち〉〈信仰の重なりとその美術〉〈山の正倉院〉〈近世の高野山〉という5つのテーマを設け高野山の至宝を展示します。

日時 4月15日より5月25日
 午前9時30分より午後6時まで
 会場 京都国立博物館
 観覧料 大人1300円 大学・高校生900円
 中学・小学生400円
 前売・団体割引あり
 主催 高野山真言宗総本山 金剛峰寺 他
 問い合わせ ハローダイヤル 06-4860-8600

